

次世代による

消化器外科MISセミナー



司会

小濱 和貴 先生

京都大学 消化管外科 教授



ロボット支援下胃切除術のさらなる進化へ

演者

柳本 喜智 先生

大阪国際がんセンター 消化器外科 副部長



ロボット手術時代に考える  
大腸癌MISの最適化戦略

演者

山本 健人 先生

医学研究所北野病院 消化器外科



当社では、ご記入/ご入力いただいた個人情報は、「科研製薬の個人情報保護に関する取組み <https://www.kaken.co.jp/privacy/index.html>」に従い、取り扱います。内容をご確認いただき、同意のうえ、次にお進みください。

日時

2025.2.20 木  
19:00▶20:30

場所

WEB開催  
ZOOMウェビナー

主催：科研製薬株式会社

お問合せ：科研製薬株式会社 井上 綾  
080-5983-1128 inoue\_ryo@kaken.co.jp

# 演者ご紹介



## 『ロボット支援下胃切除術のさらなる進化へ』



演者

柳本 喜智 先生

大阪国際がんセンター 消化器外科 副部長

抄録:

胃癌におけるロボット支援下胃切除術は2018年の保険収載以降急速に普及し、多くのエビデンスが報告されるようになってきました。ロボット支援下胃切除術は術者がSolo-Surgeryで手術を行えるというメリットがある一方で、腹腔鏡下手術と比較して手術時間の延長や、コスト面での課題が存在します。当科では、ロボット支援下胃切除術に助手が腹腔鏡用デバイスを用いてステープリングやクリッピングを行うことで、手術材料コストを抑制しつつ手術時間の短縮を行っています。本発表では実際の手術手技とともに当科での取り組みをお示ししたいと思います。



## 『ロボット手術時代に考える 大腸癌MISの最適化戦略』



演者

山本 健人 先生

医学研究所北野病院 消化器外科

抄録:

ロボット支援手術のadvantageが多く報告される中、これまで主に腹腔鏡下に行ってきた大腸癌手術の多くがロボット支援手術に置き換わっています。これは患者アウトカムの改善に貢献する一方で、当院のような一般市中病院では、ロボット術者になれない若手が執刀のチャンスを得にくくなる傾向をも生んでいます。こうした課題の中で、ロボット支援手術をどのように最適化し、腹腔鏡手術教育と両立していくかについて議論したいと思います。